



総会だよ 全員集合！

—第8回総会は11月8日（土）です—

会場は東村山中央公民館 ホール（東村山駅東口から2分）

<スケジュール>

13:00 受付開始

13:30 記念公演（第30回東村山雑学講座）

東村山市教育委員会後援

久元祐子 ピアノレクチャーリサイタル

どなたでも入場できます。 無 料

15:10 第8回（平成14年度）稲門会総会

大学から村岡洋一副総長 が出席します。

17:00 懇親会 菊水宴会ホール（久米川駅北口新青梅街道栄町1丁目交差点角）

会場備え付けのスリッパでの立食パーティーとなります。

<会 費> 受付の際お支払い下さい。

平成15年度年会費 5,000円（含む125周年寄付1,500円）

懇親会参加費 5,000円（同伴者も同金額です）

同封の「出欠の返信はがき」を必ず投函してください。

会からのお知らせ

○9月度大学関連会合、他稲門会への出席

武蔵野稲門会総会 9月 6日（土）

出席者 小亀さん

稲門祭実行委員会 9月25日（金）

出席者 井垣さん、岡田さん、野田さん

○新入会員紹介（9月分）

よろしく願いいたします。

山路 和 男（やまじ かずお）さん

S48文

東村山市恩多町4-41-42

Tel: 042-394-8434

○会員消息

・大西幸夫会長は、10月4日（土）快癒されて3ヶ月ぶりに退院されました。
すっかり元気になられ、役員会や三多摩支部大会にも出席される予定です。

・佐藤清彦さんはこのほど「土壇場における人間の研究—ニューギニア 闇の戦跡—」
（芙蓉書房）という著書を出版されました。10月10日頃店頭に出ます。



第29回雑学講座 一講演要旨一

報告者 重原 真知子 (S30文)

日時：9月6日（土）15：00～16：30

場所：ふるさと歴史館視聴覚室

講師・演題：浜田琉司氏「民芸の楽しみ方」

講師紹介

浜田琉司さんは昭和25年に早稲田大学文学部史学科を卒業され、毎日新聞社の編集局や出版局に勤務されました。昭和52年以降は日本書籍、その後日本民芸協会にお勤めになり、現在は日本民芸協会常任理事や日本民芸館運営委員をなさっています。

浜田さんご一家とは以前私が住んでいました飯田橋でご近所どうしでした。子供が小学校入学以来40年来のお付き合いになります。ご夫妻ともども大変謙虚な方々で、このご家族が人間国宝となられた浜田庄司さんのご長男一家と私が知ったのはお付き合いをしてかなり後のことでした。お会いするといつも心が爽やかになります。

講演の要旨

「民芸」とは民芸運動の指導者である柳宗悦（1889～1961年）が新しくつくった言葉で「民衆的工芸」を意味する。柳は「民衆の、民衆による、民衆のための手工業」のなかにこそ健康でいきいきとした本当の美があると主張した。単純を越える美はない、用いてこそ美である。従来だれも問題にしなかったものに民芸の美を発見した。（その実例として木喰うぶつ、大津絵、台所用品の陶磁器などがスライドで、また刺し子の手織り布あけびの手編み籠や皆川ますおさんが絵付けをした益子焼の土瓶などの実物が展示された。）

1936年に柳は陶芸家の河井寛次郎、浜田庄司らの同志と共に東京駒場に日本民芸館（東京都目黒区駒場4-3-3 ☎ 03-3467-4527）を設立した。当館内には民芸品約14,000点、さらにバーナード・リーチ、河井寛次郎、浜田庄司、芹沢けいすけ、棟方志功など個人作家の作品1,800点も収蔵されている。

昭和30年代後半より高度成長期を経て大量生産、大量消費の時代が始まり、私たちの生活様式も変化した。当面便利で安価なものが大量に生産され、また外国からも輸入された。土瓶、すり鉢、手編み籠、かっぱ（雨具）などの用具はもはや使用されなくなり、さらに作り手側にも後継者やその生活の問題、原料入手等の問題が山積し、本当の民芸品は消え去りつつあるのが現状である。

民芸が今後機械生産とどう折り合いをつけていくかが問題であるが、その一方で環境・自然との共存、循環による再生が目指されている現在、人々がその生き方を考える上で、重要な役割を果たすのではないかとと思われる。



50名を超える参加者



スライドと現物で説明



懇親会にご夫妻で参加

同好会だより

囲碁同好会

世話人 野村保夫
高鷺近TEL 394-0417
394-2336

8月例会風景

オール早稲田囲碁祭で初優勝

1) 今年で3回目となる首都圏のオール早稲田囲碁大会は、9月28日(日)いつもの日本棋院(市ヶ谷)の3階で約200名が参加し、朝10時から午後4時まで熱戦が繰り広げられました。

参加32チーム(1チーム5名編成)は各8チームずつA/B/C/Dの4クラスに分かれ、さらに各クラスを2ブロックに分けて4チームで総当たり予選リーグを行い、最後に両ブ

ロックの同順位同士で決勝戦を行って1~8位までの順位を決定する方式です。

わが東村山チームはCクラスに出場、計4回戦を勝ち抜き、なんと初優勝という輝かしい成果を得ました。しかも4回戦とも、どれも3勝2敗というきわどい勝ち上がり方でした。これも先月急逝された井上氏(第一回で活躍)が天国で応援してくれたのでは、と改めて故人を偲びました。

これまで第1回最下位、第2回ブービーという不運な(?)結果だっただけに、鈴木主将以下5名の喜びもひとしおで、優勝賞品を携え近くのビヤホールで乾杯して氣勢を上げ、意気揚々と引き上げました。来年はBクラスに昇格です。

2) 10月例会は10月18日(土)午後1時から、市民センター別館2階/第6会議室で行います。

テニス同好会

世話人 当間昭治 TEL 391-6023



9月の例会は7日(日)午後3時より運動公園のDコートで開催致しました。集まった方が12名(内2名は応援)でしたので5組のペアに分かれて4ゲームの総当たりリーグ戦を行いました。

当日は夏としては涼しく、絶好のテニス日和で、技術は互角の選手ばかりでしたので、声援と笑いとファインプレーの続出で、誠に賑やかな和気あいあいの例会でした。午後5時の時間一杯に予定の全試合を終了することができました。

次回の例会は下記の通りです。11月は2回予定しておりますので奮ってご参加下さい。初心者の方もご遠慮なくどうぞ。お待ちしております。

記

日時: 10月 5日(日) 午後3時~5時

場所: 運動公園テニスコートD面

11月 9日(日) 午前9時~11時

運動公園テニスコートC面

11月 24日(振替休日) 午後3時~5時

久米川コート第4コート

園芸の会

世話人 三宅良太

TEL 394-5298

今年第6回の園芸の会を下記の日程で催します。今回は各自が育てた秋蒔き草花の苗の交換会を行います。大勢のご参加をお待ち致します。

記

日時：平成15年11月9日（日）15時～17時

場所：東村山市民スポーツセンター2階
スポーツクラブ室

俳句同好会（稲酔会）

世話人 高杉修 391-8447

柴田元 396-8257

第10回の稲酔会句会は10月26日（日）午後1時から「恩多ふれあいセンター」（恩多町5丁目）で行います。兼題は「きのこ」です。

きのこならば「松茸」でも、「しめじ」でも何でも結構です。

出句は兼題句を含めて5句以内で当日参加出来ない方の投句も受け付けています。前日までに担当の井垣さんまで都合の良い方法で届けてください。初めての方大歓迎。秋の夜長にひねった名句を、出してみませんか？

「きのこ」一切の中から・・・、（秋の季語です）

茸、菌（きのこ）、茸籠、茸狩、茸とり、茸飯、茸日和、木茸（きのたけ） 榎茸、蛇茸、芝茸、松茸、占地、栗茸、椎茸、初茸、舞茸、岩茸、毒茸、紅茸、平茸、

（井垣 記）

清瀬稲門会オペラ鑑賞会

清瀬駅北口生涯学習センター7Fアミューホール

11月09日（日）ヴェルディ「オテロ」79' バイエルン国立劇場ライブ186分

12月21日（日）グルック「オルフェオとエウリディーチェ」

82' グラインドボーン音楽祭ライブ124分

カラオケ同好会

世話人 内藤 慎 TEL



世話人を引き継ぎ初の例会を9月6日ドレミで開催しました。常連さんが5名欠席すると連絡があり、人数が少ないのではと心配しましたが新世話人の顔を立てて遣ろうという心使いから13名も集まり大いに賑わい盛会でした。

出席者は常連の井垣、風間、佐野、田口、内藤、三宅、八木、山下の各氏に初参加の岡田、柴田、鈴木、小林の各氏でした。3時間に45曲を熱唱又熱唱ヒートアップしました。

店の人に皆様は年はお幾つですか、元気もりもり喜ばしいことですよと云われました

新規の店になり、会費が少し高めになりました。ルーム代¥16,200 プラス飲食代¥1,000が目安となります。ご理解の上今後も多数の参加を歓迎致します。

10月の例会は 日時：10月11日(土) 19:30より

場所：ドレミ 栄町2-39-18地下1階 391-0314

11月例会は総会が有りますので中止といたします。12月は忘年カラオケ大会を開催のよていです。お楽しみに。(内藤 記)

ゴルフ同好会

世話人 井垣 和太 TEL 396-3100

○第14回会長杯コンペ10/16は3組で挙行。



ようやく季節とカレンダーが一致してきた感がある、秋たけなわの毎日ですね。前号でご案内した第14回の会長杯にエントリーしていただいた方が丁度12人。こだまゴルフCCの距離たっぷりの難ホールに挑戦をします。

高部さんの3連覇を阻むのは誰か？出場者全員にチャンスがあると思われる少数激戦の大会です。皆さん頑張って下さい。幹事役の高部さん、井垣さんご苦労様です。

ゴルフ同好会も7年目になりますが、やはり高齢化現象が出てきたようです。リタイヤされる方や体調戻るまでパスされると言う方が増えてきました。

当同好会もゴルフ定年後の受け皿を考えることにしましょうか。例えばグラウンドゴルフとかゲートボールとか、あるいは小野さんを指導者に迎えてユニカールとか・・・。

それは兎も角、10月16日が秋晴れであることまず祈りましょう。

参加者は下記の方々です。

井垣和太(S37商)、相馬信一(36文)、高杉修(S32教育)、高部素行(S35理工)、月森通夫(S35法)、津野慶浩(S37商)、内藤慎(S28商)、鍋島高明(S34政経)、益田昂(S36法)、森田茂夫(S34商) 三宅良太(S36商)、吉本正典(S29商)。

(井垣 記)

郷土史の会

世話人 三宅良太 TEL 394-5298



今回第3回の郷土史の会を催しました。

9月23日（祝）伊藤友己氏（51政経）のご案内で秋晴れの爽やかな一日を埼玉県川口市の赤山陣屋跡及び縁のお寺等を参加者11名で見学散策致しました。

午前10時すぎ新秋津駅を出発、東川口経由戸塚安行駅に下車、徒歩でまず真言宗西福寺（さいふくじ、1574年開基）へ、三重の塔、本堂他伽藍を拝観、続けて安行の植木屋さんの町中を通り抜け、関東郡代伊奈氏の赤山陣屋（1629年建設）跡に到着。本丸跡の傍らで皆で和やかに持参の弁当

で昼食を済ませ、その場で伊藤氏より赤山陣屋の由来、伊奈氏の事績・勢威そしてその家来の富田家と当時の東村山廻田村とのかかわり等の解説を頂き、周辺の空堀、土塁跡を見て廻りました。

同行された江藤昌明氏（昭27政経）は小町家と並び旧廻田村の名主の家柄、残された古文書等をふるさと歴史館へも寄贈されており、一入興味深げでした。次に伊奈氏の菩提寺浄土宗源長寺（げんちょうじ、1618年創建）へ行き、本堂や伊奈家の頌徳碑等を拝観し、新井宿駅から帰途につき新秋津駅に午後3時過ぎ到着解散致しました。伊藤さんにあらためて御礼申し上げます。参加者は伊藤、江藤、柴田、土橋、當摩（彰）、額田、松永、八木（勝）夫妻、三宅夫妻。

俳壇

初潮や少年すでに漁師の目
買い戻せし古里の家木の実降る
ひぐらしや村に伝承なき古墳

高杉風至

朝顔は疾うにお寝込み千鳥足
掃き終えし庭に一葉音立てて
流言のまことしやかや曼珠沙華

井垣稲雀

踏み明けて野を極むれば曼珠沙華
釣り人もとぼけ顔して鯊を釣る
刀身に切られるがごと秋刀魚食う

八木竜湖

神楽師のかひなゆるりと秋祭り
青みかん重き確かめむき始む
新涼や御朱印帳の依頼あり

大野恵峰

幼木も毬を重ねて栗並木
満月に赤い惑星点を添え
用水のほとり紅づく曼珠沙華

塩見之一

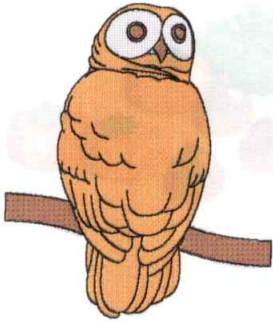
ビルの間に入道雲の光りけり
冷房車文庫本読むカウボーイ
夜を追ひて通りすぎたる野分けかな

丸本北窓

封じ目のほどけてゐたる落し文
遙かまで蔵の家並の片かげり
あづまやに暑い暑いと言ふて入る

菊田一平

多摩湖ふくろう通信 No 17



2003. 8. 3

戸田 志郎 (S43法)

長かった梅雨がようやく明け、待ちに待った？夏の到来となりました。昨日から西武遊園地の花火も始まりました。

さて、我々中高老年にとっては季節の変わり目には、いっそう健康に注意する必要があります。サラリーマンの場合、医療費が本人3割負担となり、なおさらと言わざるをえません。

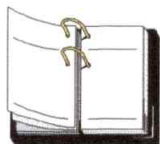
都留重人氏の「体制変革の展望」(新日本出版社、2003年)の中で、「技術革新によって増加する医療コスト」という指摘があり、『何でだろう』と思いました。普通製造業においては、技術革新はコストを下げるからです。

たしかに、最近の医療技術の進歩は目を瞠るものがあります。診断や治療でプラス効果を持ったことは疑う余地がありません。CT スキャンしかり、ファイバースコープの開発、カテテル検査の領域など、日進月歩の技術革新が、医療行為の進歩に貢献しています。

しかし、医療の場合技術進歩すればするほど医療費が高くなるという。問題点は医療の出来高払い制の中にあるといえます。医療の出来高とは、本来健康の回復、ないしは保険の実現といった、産出が出来高であるべきなのに、いま医療においては、むしろ投入、インプットを具体的に数え上げるという形をとっています。

たとえば卒中で倒れて保存的に治療を行った場合、1959年では髄液検査程度しかおこなわれなかったのですが、68年時点では脳血管撮影によって頭の中の血管を撮影出来るようになり、78年にはCT スキャナーが入り、出血部分や広がり程度を撮影出来るようになり、おかげで診断の点数は1959年の159点から78年の8237点へと、実に52倍も高くなっています。

また、検査機器の発達が著しいことから、医師が検査結果に頼る傾向が強くなっています。「医師が検査機だけを見て人間を見なくなった。」医師かつ評論家の松田道雄さんは『安楽に死にたい』(岩波書店、1997年)という本のなかで、「今の診療体制は、患者の人間よりも器官の異常を対象にしている」と書いています。「無益な延命」を痛烈に批判したアメリカの聖公会協会の教区牧師レイモンド・セルビイという方は「医の科学を創始する上で大きな貢献をした文明である古代ギリシャは、人間は誰であれ幸福な一生を生きたとはいえない、という信念を持っていた」と書いています。技術革新と医療コストという問題だけでなく、現代医療における倫理的な課題でもあります。



今月の予定

- 5 日 (日) テニス同好会
- 11 日 (土) 役員会
カラオケ同好会
- 16 日 (木) ゴルフ同好会
- 18 日 (土) 囲碁同好会
- 19 日 (日) ホームカミングデー
稲門祭
- 25 日 (土) 三多摩支部大会
- 26 日 (日) 俳句同好会



編集局だより

編集局：井垣、伊藤、

東村山稲門会ニュースホームページ：<http://members.jcom.home.ne.jp/toumonkai>

- やっと季節も秋めいてきて、郷土史の会の見学会でも気持ちの良い汗をかいてきました。本当ならこの時期あちこちと出歩きたいのですが、何故か今年は中途半端な忙しさで、ただウロウロとしています。ホームページの更新も儘ならずご免なさい！
- 下宅部遺跡はっけんのもりを育てる会のメンバーに現役の早稲田の理工の学生さんが加わってくれました。そのお一人片石さんは町づくりをテーマに市内の中学校でワークショップを続けてこられました。10月からは1中4中の共同土曜講座で活躍してくれそうです。(伊 藤)
- 次号の原稿締め切りは10月31日(土)とさせていただきます。(11/8発行)
- 大西会長が退院されました。お会いするたびに元気さが増してこられ、3ヶ月前の心配が杞憂に終わり万々歳です。ゴルフの練習にも行こうと言っておられますが、「しばらくは慎重に、慎重に・・・」と手綱を締めるのに苦労？
- 19日(日)の稲門祭で16:00～16:45で「稲門会大集合」という企画があります。大隈講堂前の特設ステージにプラカードを掲げて「世界の稲門会が大集合」して、ステージで一言ずつ話して、最後は全員で校歌の大合唱をするという企画です。当会も参加しますので皆さん稲門祭を楽しんだあと大隈講堂前へ来てください。
- 東村山稲門会会報(年報第7号)が完成しました。編集に当たられた山下さん、田口さん、岡田さんを始め関係の皆さんご苦労様でした。月々の「稲門会ニュース」とはひと味ちがう会報の発行も、当会の誇るべき活動と言えるでしょう。(井 垣)

11月8日(土) 13:30～

450名収容の中央公民館ホールを満杯にして

記念公演「久元祐子ピアノレクチャーリサイタル」を

成功させましょう。

家族・知人・友人・隣人を誘ってお出かけ下さい。